

黒潮はやや接岸して房総沖を北東に流れていました(図2)。  
水温は、銚子・九十九里, 外房いずれも海面から水深200mまで平年よりやや高め～高めでした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は17～24℃で、銚子・九十九里では沿岸と沖の間で顕著な潮目が見られました(図3)。鉛直的に見ると、海面から水深150mにかけて黒潮から波及した暖水が分布していました(図5)。一方、犬吠埼南東線の大陸棚斜面(水深400m前後)には、低温、低塩分な水塊が見られました。

海面の流れは、黒潮とその暖水が波及する海域では2～3ノットの北東へ向かう流れでした(図2)。クロロフィル濃度は少なめでした(水深10m層は最大で0.7μg/L, 水深50m層は最大で0.5μg/L, 図7)。

キンメ漁場の底層水温は、勝浦沖, 銚子沖ともに前年より2～3℃高めでした(図8)。海面の流れは、勝浦沖は北北東へ向かう2ノットの流れ, 銚子沖は北東へ向かう3ノットの流れでした。

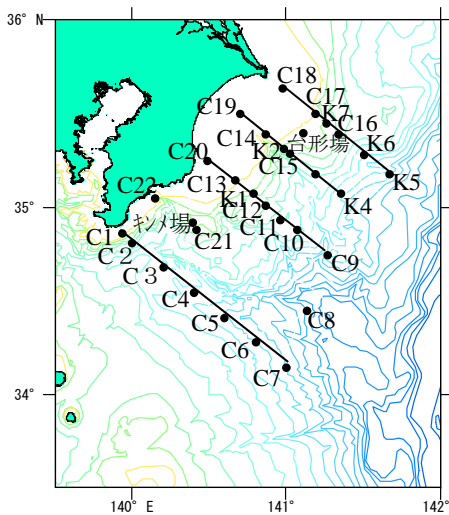


図1 調査点

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

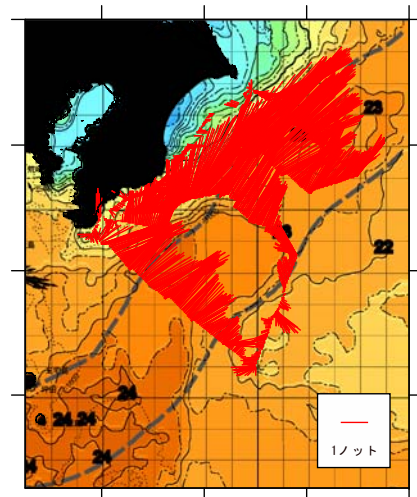


図2 観測時の海況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.7 やや高め	22.1 高め	19.7 やや高め	16.7 高め
外房	21.8 やや高め	21.1 やや高め	21.0 高め	17.0 高め

\*水温評価点 (銚子・九十九里海域: C14～20 計7点)  
(外房海域: C1, C3, C11, C13, C21, C22 計6点)

\*沿岸水温評価の目安 (σ: 標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

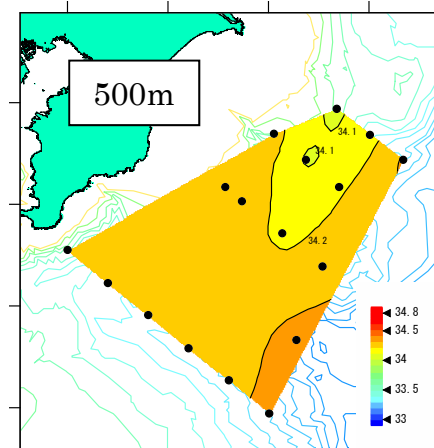
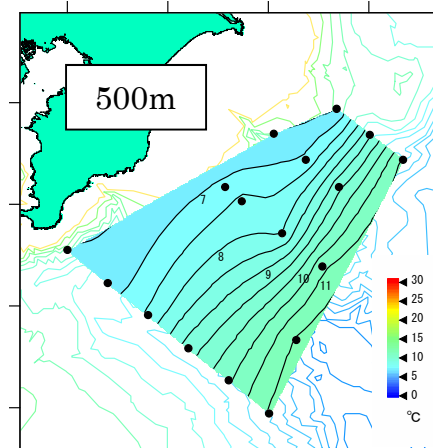
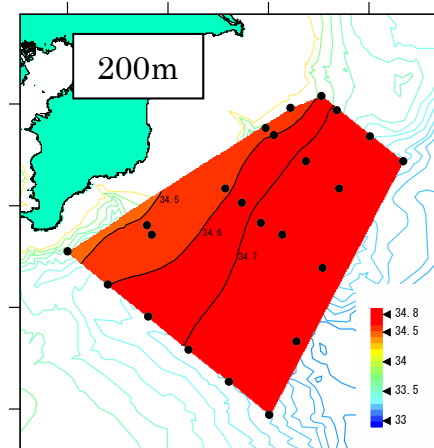
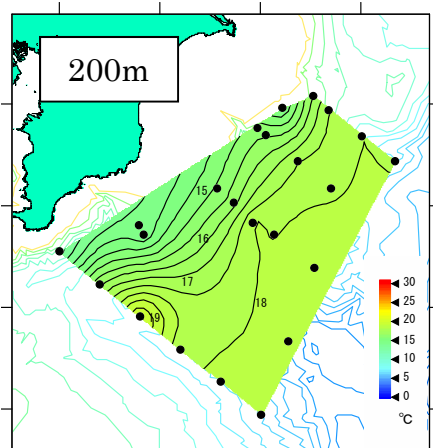
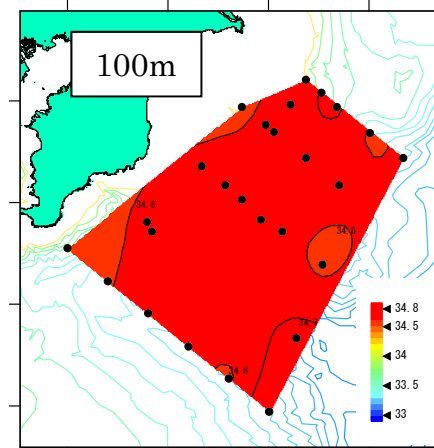
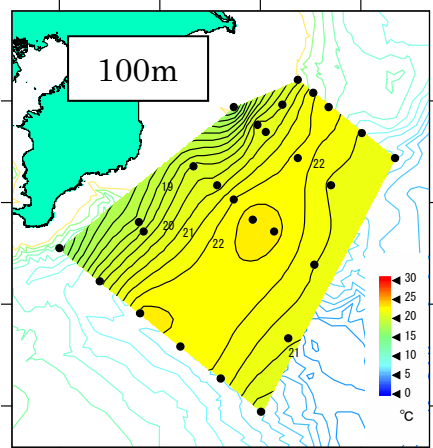
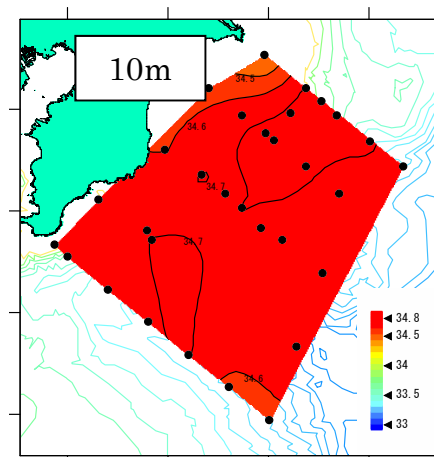
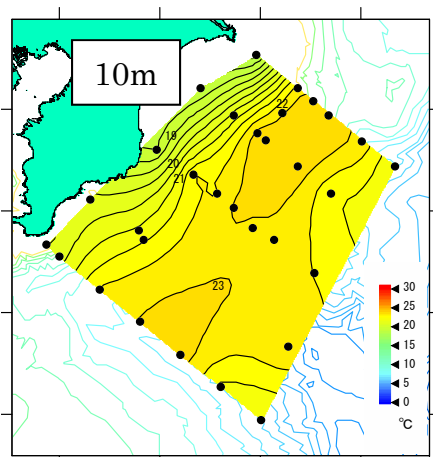
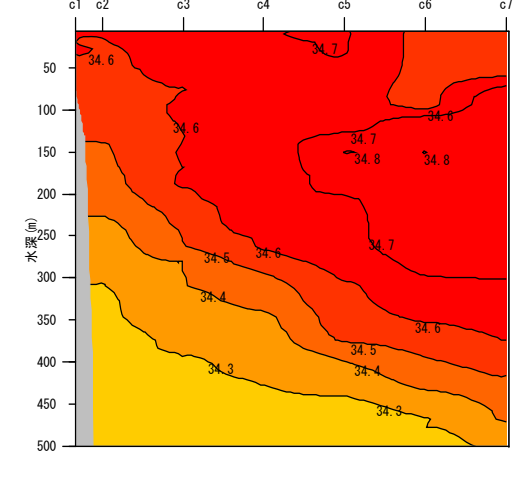
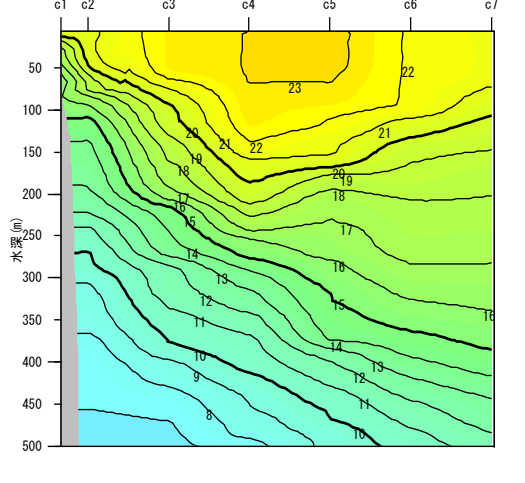
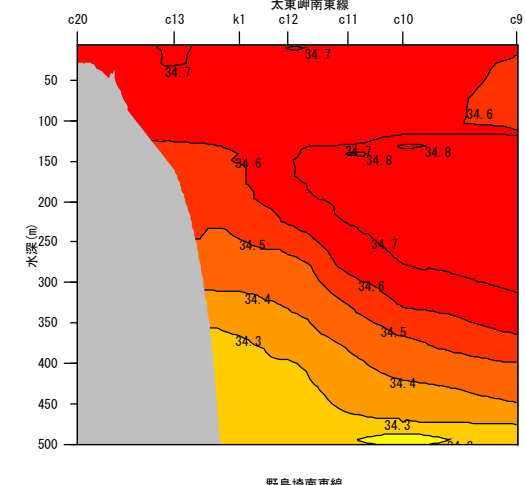
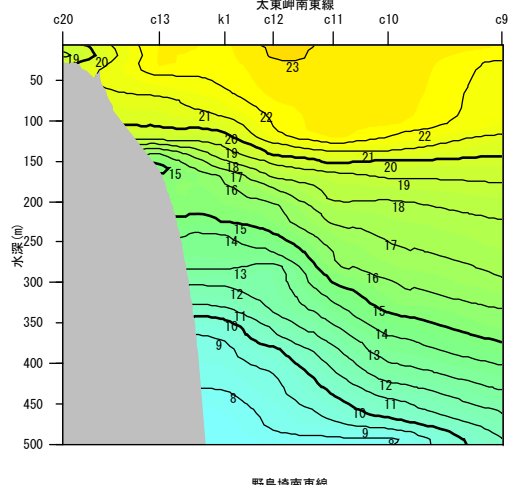
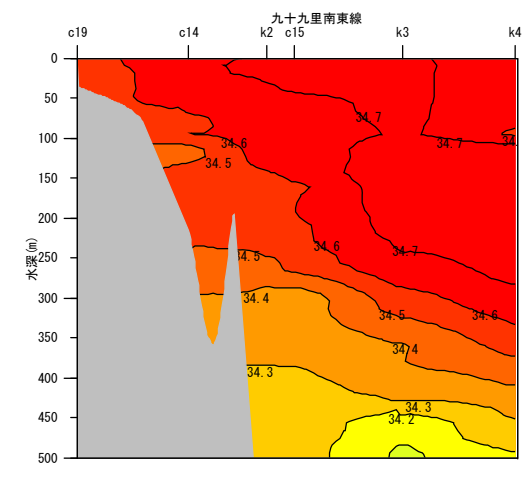
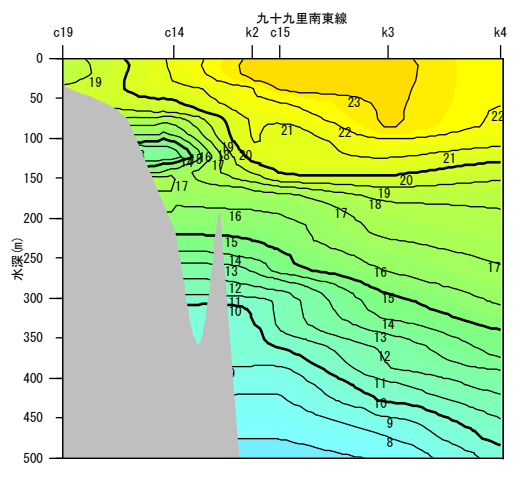
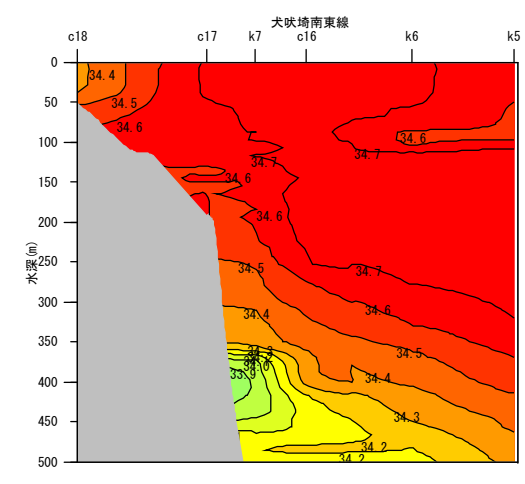
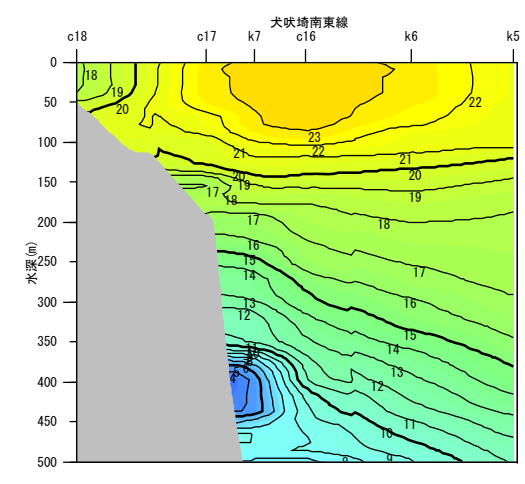


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布



**図5** 水温鉛直分布  
 上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）。
 

**図6** 塩分鉛直分布

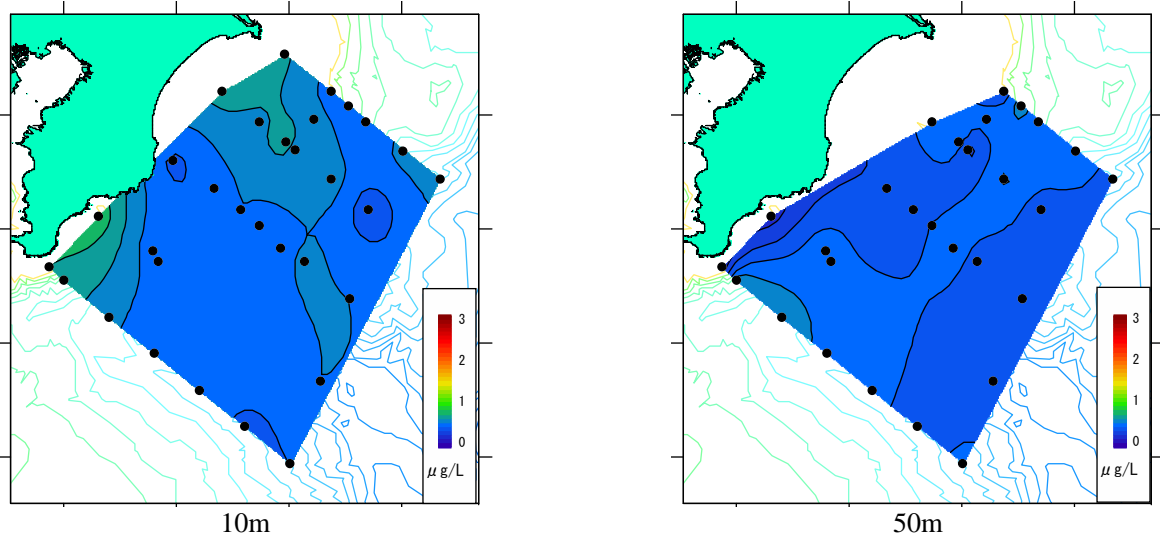
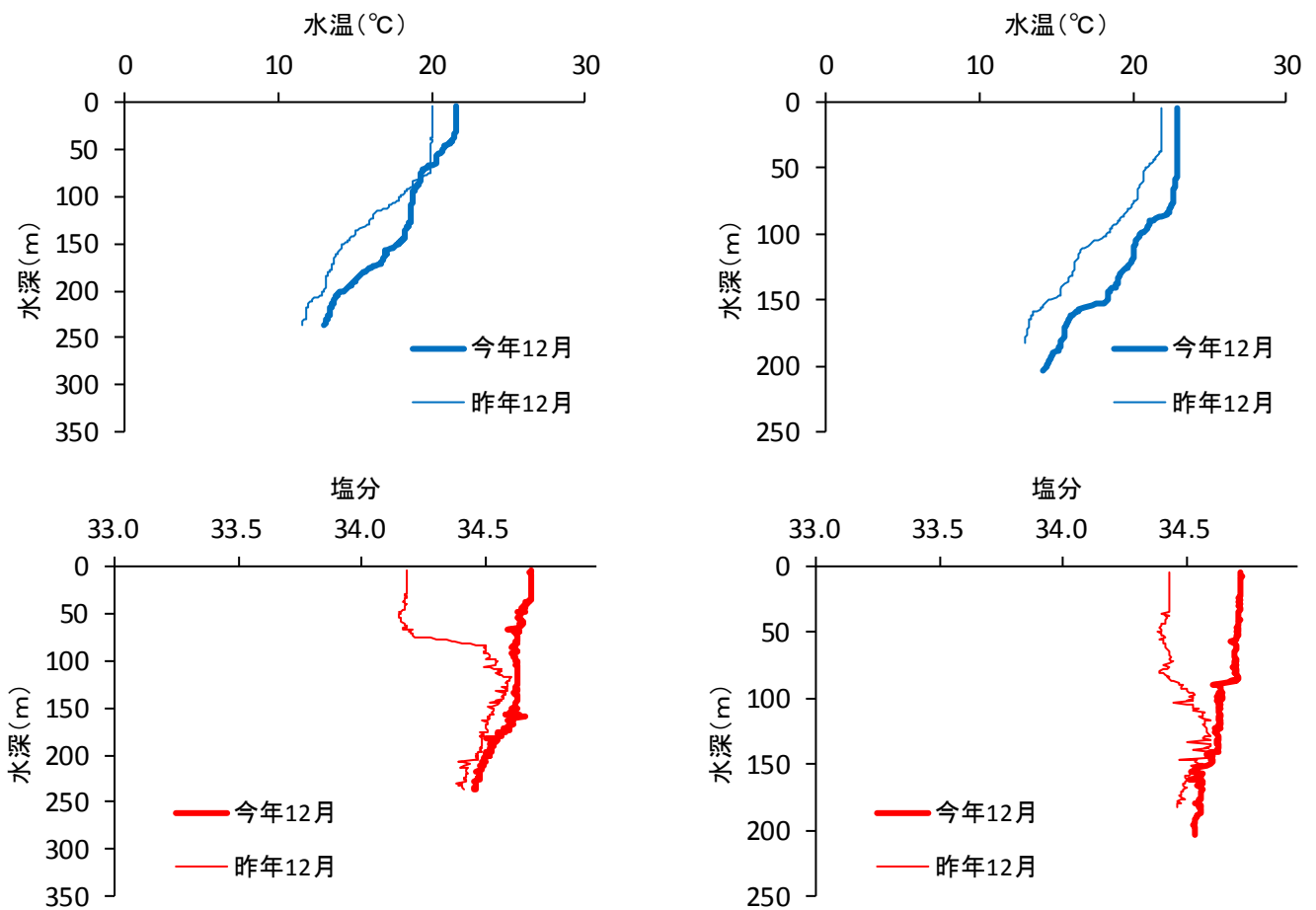


図7 水深別のクロロフィル分布（単位： $\mu\text{g/L}$ ）



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布（青：水温，赤：塩分）

<資料> 関東・東海海況速報（図2；12月9日分）